## 大型地震にそなえ防災マップを

### 実践的な防災訓練実施

**亀井　秀男　議員**

**問** 昭和21年の南海地震によって大きな被害が出ており、今世紀初頭に四国地方を襲うと予想されております東南海、南海地震は同時か接近して発生する恐れが大きいと発表されております。隣県では対策を整えています。西予市においても三瓶・明浜地区に津波の被害が心配されます。早急に災害を想定した防災マップを作製して住民に周知し、住民意識の啓発に努めてもらいたいが考えを伺いたい。

**建設部長** 西予市防災計画策定後は周知徹底を計り、実践的な防災訓練を実施し啓発を図っていきたいと考えています。

### 公共施設の耐震診断を

**問** 災害時の避難の拠点となる学校、病院、市役所等の公共施設の耐震診断と改修計画について伺いたい。

**建設部長** 西予市の小中学校の状況ですが、32校中22校53棟に耐震診断が必要となっており、現在一次診断を実施しているのが7棟、二次診断4棟は改修済み、耐力度調査一棟実施し、耐力度調査を行った一棟は来年度改築を計画しております。未実施の41棟については17年度に調査を予定しております。

病院につきましては、野村病院は耐震構造でありますが、宇和病院は、今後の施設整備の方向で検討したいと考えています。市役所の耐震診断ですが、この庁舎は半世紀が経過し非常に劣化、損傷が激しい状態であり、建物診断というより、早急に改修、或いは改築の対策を講じる必要があるものと思われるが、多額な財源を要するだけに、当面の建設は困難であるものと考えております。

### 追加質問

**問** 9月7日の台風18号により、明浜地区は、塩風が長時間吹き荒れ、塩害を受け、日に日に被害が大きくなり枯死、落葉、落果となり山は赤くなり被害は、果実2億、樹体3億2千万と試算され今後まだ増加が考えられる。枯死した園地は改植していく必要があります。老齢化した今の農家には、借入して返済していく体力はありません。国県に改植事業の助成、補助をお願いする次第です。再生の為に西予市としましても、手助けをお願いしたい。

**市長** 国県に陳情して、西予市としましても、できる限り手助けをしたいと考えています。

心配される地震対策



# Relay（リレー）

## 議員紹介

### 異常気象は人災

**浅野　豊重**

ン畑は見るも無惨な塩害である。

市において災害復旧は緊急の課題である。特に塩害による被災農家の再起を促す必要がある。改植支援はもとより、時期収穫までの生活支援も大きな課題である。

本市は、5町が文化、歴史、風土の違いを知った上での合併であり、違いを認め、助け、励まし合って市内に1人の泣く者がない様に行政、議会市民が一丸となって、合併してよかった、と言える市にすべく皆様の理解と協力をお願い致します。

夏から秋にかけて、史上希に見る大きな台風が立て続けに日本列島を襲い、各地に甚大な被害をもたらした。

最近の異常気象は、人類が、科学技術を発展させ、大量生産、大量消費社会を構築して、利便性のみを追求した結果起こった人災であると言っても過言ではない。人間の英知を平和と地球環境保全のために使うことを切望する。

さて、市内では、家屋、農業用施設、山林の倒木崩壊、河川の氾濫、ミカ

### 開かれた議会をめざして

**大竹　忠盛**

様々な課題を克服し、西予市が誕生しました。海あり、里あり、山あり、と実に変化に富んだ、西予市。しかし乍ら、行財政共に大変厳しい環境にあることも現実であります。その上に、今年は台風4回の襲来。農林漁業、市道、施設災害等、これらの諸課題にいかに迅速に対応して行くか、め次理事者、議会の行動はきわめて重要であります。

さて、これからの議会は「開かれた議会」のあり方が求められています。

市議会として、今度の「議会だより」の発刊は的えた議会活動の一つといえると思われます。

私は一議員として開かれた議会活動をめざすたのことに留意して参りたいと思います。

一、市民の方々に議会活動報告や行政の主要な動き等の情報を出来るだけ提供するよう努めたい。

二、市民の方々の対話や市の主要課題等については、しっかり、調査・研究し政策としてまとめ、市政に反映したい。

三、議会外でのネットワーク作り（例、福祉問題研究会）等にも積極的に参加し、議会活動に生かしたい。

四、地域課題の解決や、まちづくり活動にも目を向け開かれた議会活動をめざしたい。

私は、市民の皆様と共に「新しいまちづくり」のために共に汗を流したいと思います。

大変厳しい財政状況ではありますが、「夢と希望」の持てるまちづくりをめざして努力して参りたいと思います。

### 活性化の為のネットワーク

**平野　武男**

んできております。

その特性を生かした活力ある西予市を創っていくためには、各エリア間や旧町の中枢施設間を結ぶ交通体系の整備が大きな課題になってまいります。また、共に情報を共有していくための情報ネットワークの構築が必要となってまいります。

西予市の誕生に当たり私はどこまでも「誠実」第一に「一人の人を大切に」をモットーにして、西予市民の幸福の為、西予市全体の発展の為報恩の心で活動して参る決意であります。今期私は厚生常任委員会に所属しており、過日旧5町のすべての厚生施設の視察をさせて頂きました。それぞれ地域のかかえた問題に接し新市の将来の中で解決すべき点が多くありました。長年地域の中で積み重ねてこられた慣習や医療システムを大切にしながら新市へつなげて行く「骨太の政策」が今求められていると感じた次第であります。介護保険制度が出来て5年目に当る来年へ向けて見直しの議論が行なわれています。制度発足以来サービス量は伸び続け2004年の保険給付費は約5.5兆円。これが2025年には19兆円に達すると予測しています。将来にわたって持続可能な制度とする為の適切な負担のあり方やサービスの向上、質の確保、新たなサービス体系の確立など、長期持続可能な制度への見直しを細心の気配りで、国の介護保険部会の組織の中での議論に期待をしながら、今後西予市において皆様の負託にお答えして参ります。

西予市が誕生して半年が経過し、行政も議会も新しい町づくりを目指して懸命に取り組んでおります。

西予市は、東宇和郡4町と西宇和郡三瓶町の5町が合併しており、旧町それぞれの特性を生かしながら、新市としての新たな発展を目指していかなければなりません。

旧5町には、それぞれに長い歴史の中で培われてきた独自の文化や風土とシステムを有しており、一つの市の機能として統一していくためには、それなりの時間と努力が必要であると思います。

議会運営にしても、これまでの旧町での運営の仕方との違いがあり、戸惑いを感じることもありますが、これを機会に新市に適応した新しい議会の運営システムを創っていくことも大きな課題であろうと考えます。

西予市は、山岳地帯から高原地帯、海岸地帯にいたる変化に富んだ地形と豊かな自然を有しており、その中で培われた素晴らしい文化や産業を育

### 一人の人を大切に

**山本　安男**

西予市民の皆様に一言御挨拶を申し上げます。はじめに再度の台風の襲来により被害を受けられた市民の皆様に心から御見舞を申し上げます。農作物や海辺の地域の方には塩害による被害で激甚的な様相を示しており早期救済の手を嘆願する者であります。一日も早い再起を祈っております。議会の中でも議論を尽くして、旧5町のそれぞれの特性を生かし、大きな力として発揮していけるような、活性化のためのネットワークづくりの推進を図っていかなければならないと思います。